

悲惨な歴史を知り受け継いでいくために…

中学校で満蒙開拓の歴史を学ぶ講演会を開催

市内中学校では平和学習を行っており、その一環として9月2日、城南中学校、城北中学校でそれぞれ3年生の生徒を対象とした平和学習講演会を満蒙開拓平和記念館(阿智村)の三沢亜紀事務局長を講師に行いました。



城南中学校での講演の様子

講演会で三沢さんからは、当時全国各地域には満州への移民送り出しにノルマが課せられ、飯山市や長野県内から多くの農業移民が満州へ送り出されたことや、ソ連が満州に侵攻すると、村に残された女性や子どもが逃避して集団で服毒自殺を図ったり子どもを中国人に預けたりした

感じた」と感想が述べられました。平和学習については、今年度初めての取り組みとして、阿智村の満蒙開拓平和記念館に中学3年生の生徒全員が夏休み期間を利用して訪問し学習する予定でしたが、長野県内に新型コロナウイルスの医療特別警報が出されていたため、日程と内容を変更し今回の講演会実施となりました。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

小学校6年生と中学校3年生を対象に実施した、全国

学校別	教科	全国	飯山市
小学校 6年生	国語	65.6	63
	算数	63.2	61
	理科	63.3	63
中学校 3年生	国語	69.0	62
	数学	51.4	45
	理科	49.3	47

本年度は、4月19日に小学校6年生、及び中学校3年生を対象に実施されました。実施教科は、国語科、算数・数学科、そして3年に一度実施される理科が加わりました。小学校については、国語科、算数科で全国平均を2ポイント程度下回りましたが、理科では全国平均とほぼ同程度の結果となりました。

中学校では、国語科で全国平均を7ポイント、数学科で全国平均を6ポイント程度下回りました。また、理科では全国平均を2ポイント程度下回るという結果となりました。各小中学校ではこの結果を踏まえ、児童生徒が「楽しい! 分かった・できた」と実感できる授業づくりに取り組むとともに、学んだことと実生活とを結びつけながら「生きて働く学力」が身につくよう指導に取り組めます。

「米づくり」を教材にした飯山らしい教育を实践 各小中学校で児童が稲刈りを実施

飯山を代表する基幹産業の1つである「米づくり」を教材として、食料や農業の大切さを学習してもらうため、飯山市では平成14年度からすべての小中学校で米づくり学習を実施しています。

小学校では地域の方々に講師になっていただき、米づくり体験を通じた学習を行っており、東小中学校では9月22



刈った稲をハゼかけする児童

市内小中学校では今後とも「飯山らしい教育」として米づくり学習を続けていきます。

～皆さんの意見・提案をお聞かせください～

『飯山市子ども・子育て会議』公募委員を募集

飯山市では、子ども子育て施策の合議の場として「飯山市子ども・子育て会議」を設置しています。この会議では、令和2年度を初年度とする5か年計画の「第二期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況確認や、内容の点検および評価など、子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進について、実施状況を調査審議する役割を担っています。広く市民の皆さまの声を反映させるため、公募委員を募集します。

■応募資格 (次の要件に該当する方)

- (1) 飯山市に住民登録している20歳以上の方
- (2) 他の審議会等の公募による委員に選任されていない方
- (3) 飯山市の議会議員または職員でない方
- (4) 市税等を滞納していない方

■募集人員 3名

■受付期限 11月10日(木)まで

■任期 2年間(令和6年11月30日まで)

■報酬 市条例で定める額

■申込手続

子ども育成課窓口(市役所3階)にある応募申込書に必要な事項を記入のうえ、持参、郵送、電子メールまたはFAX(62-5990)で提出してください。なお応募申込書は市ホームページからダウンロードできます。

■お問合せ

子ども育成課子育て支援係 電話 67-0741(直通)

人権学習

なぜ人権学習が必要なのでしょう?

戸狩小学校長 村松 直昭

皆様もご存じのように、日本国憲法の三大原則といえは国民主権・戦争の放棄・基本的人権の尊重です。この中の人権について今回は考えてみます。人権という言葉は「人」と「権利」という二つの言葉からできていて、人が生まれながらにもっている権利のことです。しかしながら現実の社会では人権が侵害されていることがしばしば見受けられます。人種差別、男女差別、部落差別、ハンセン病者への差別、障がい者への差別：などたくさん問題があります。特に最近では、新型コロナウイルスによる自粛警察や誹謗中傷などの問題も顕著に現れています。では、なぜこのような問題が世界各地に見られるのでしょうか?人間には、人と比べ、より良くありたいという思いがあるのですが、いざというときに自然とこのような問題が自然と出てくるのではないかと私

は思います。ですから、差別や誹謗中傷をしないと認めていても、人権侵害という問題が発生してきます。このことが良い・悪いではなく、人間なら誰もがこのような心をもっているということに自覚しておく必要があると思います。こう考えると、常に自分の心を見つめ直すことが大切で、そのために人権学習が必要だと思っております。この原稿を書きながら、人ごとではなく、私自身も自分の心を見つめ直す学習が必要だと思っております。自分自身のあり方を振り返るための人権学習をし、悲しい思いをする人がいなくなる人権が尊重される社会を共につくっていきましょう。

